

「了佐てらこや小学校」

夏休みに入ってしばらく経った七月二十九日、今年も近江聖人中江藤樹記念館で「了佐てらこや小学校」が開校されました。

藤樹先生に学ぼう

藤樹先生の門人で、人一倍努力して名医となった大洲出身の大野了佐にならない、入校を希望した市内の小学生に、わが国古来の学習法である「読み」「書き」の大切さを体得させたり、ものづくりをとおして工夫や努力することの大切さを学んでもらおうとするものです。

▼参加児童

小学三年生～六年生

三十二名



開校式で、子ども達は姿勢を正し、緊張感をもって臨んでいました。

▼授業内容

①七月二十九日(火)

開校式・論語の素読・習字(基本練習)

科学実験(静電気など)

②七月三十日(水)

論語の素読・習字(基本練習)

科学実験

③八月五日(火)

論語の素読・習字(基本練習)

新聞紙のバッグづくり



『大きな声での論語の素読は、脳によい響きを与え、活性化する』(西川先生)

④八月六日(水)

論語の素読・習字(手本の錬成)

折り紙(カワセミなど)

⑤八月七日(木)

論語の素読・習字(手本の錬成)

落款印づくり

⑥八月八日(金)

論語の素読・習字(作品仕上げ)

修了式

▼指導者

西川守彦先生が中心に指導、澤井千晶さんと中村淳子さんがお手伝いされており、横井正館長をはじめ記念館の職員の方々も科学実験やものづくりを指導されていました。



学年に応じた手本をもとに、作品作りに励んでいました。

▼修了式では……

藤樹先生頌徳歌を斉唱した後、横井館長から一人一人修了証をいただきました。どの子も笑顔で、満足気な表情であったことが印象的でした。最後の一人一人の感想発表にも充実感を窺えました。

『みんな日に日に仲良くなり、お世話やきの子が増えてきました』と西川先生がおっしゃったように、異学年での学びの良さが示されたのでしよう。来年も定員オーバーで賑わうことと思います。

(三田村治夫)

観てみませんか……

映画『近江聖人中江藤樹』

上山 基 継

藤樹先生のお名前とあかぎれ膏藥の話しか知らない私に、中江藤樹記念館の館長を命ぜられた時は、かつて経験したことのないプレッシャーと不安が私を襲いましたが、そこから逃げる訳にはいかず、とりあえず“大筋”で藤樹先生を知ろうと購入したのが、映画『近江聖人中江藤樹』でした。その映画に大変感動し感銘を受け、記念館に着任する日までに五回観ました。結果、プレッシャーや不安が払拭され、学問や歴史的事など難しいことは今は知らなくても、この映画から、「人として生まれたからには人らしく美しい心を発揮して、みんな仲よく助け合って生きる」ということを来館者にお伝えできればいいのだと、不思議なほど自信が湧いてきたのを覚え、本当に有難かったです。

モラル崩壊や純粋な心を失いつつある現代社会。悲しいかな、それに似たことが藤樹先生生誕の高島でも起きているのは、何とも居たたまれない。こんな時こそ、今一度、映画『近江聖人中江藤樹』を観てみませんか、広めてみませんか。